

## 1. 内政

### ▼多数派形成に向けた動き

・フィアト自由民主党党首は、15日に一部の無所属議員、16日にルプ民主党党首、17日に自由党会派議員(13日に同党を除名されたハダルカ自由党会派代表等)と多数派形成に向けた交渉を実施。17日、フィアト党首は、共産党会派とは交渉を実施しない意向である旨発言。

・17日、ティモフティ大統領は、フィアト自由民主党党首を首班指名しないよう3月下旬にギンプ自由党党首から脅迫を受けていた旨発言。

・19日、ストリレツ自由民主党議会議会派代表は、同党はプラホドニク民主党第一副党首の議会議長への任命に賛成する用意がある旨発言。

### ▼自由党からの議員離反に関する動き

・13日、自由党は、12日にフィアト内閣信任の意向を表明しギンプ党首の交替を要求した議員(12名中7名)及び閣僚等の除名を決定。17日、ギンプ自由党党首は、同グループのシャラル環境相代行及びマリヌツァ国防相代行の辞任を要求。

・18日、自由党は、除名したハダルカ議員に替わりムンチャヌ議員を同党議会議会派代表に指名。

### ▼議会の動き

・議会は、議会選挙を完全比例代表制から小選挙区(50議席)・比例代表(51議席)併用制に変更する旨の民主党議員提出の議会選挙法改正案を、18日に第一読会において、19日に第二読会において自由民主党及び民主党等による賛成多数で採択。

・18日、議会は、自由民主党及び民主党等による賛成多数によりグリーン新検事総長(ルプ議会議長(民主党党首)による提案)を選出。同日、同新検事総長は宣誓を実施。

### ▼世論調査

[モルドバ社会・人口学協会]

・近日中に議会選挙が実施された場合の政党支持率  
共産党:29.5%、自由民主党:17.4%、民主党:9.8%、自由党:7.3% 等

・調査は4月1日から13日にかけて1,140名の成人を対象に実施。

## 2. 経済

### ▼EU財政支援

・18日、シュューベル駐モルドバEU代表部大使は、モルドバの政治的安定が確保されればEUがあらゆる分野の援助のための財政支援を行う用意がある、モルドバは改革を継続することが明らかに必要であり、そのための財政支援として、例えば、2013年中に1億ユーロ規模の支援を計画しており、政治情勢が回復した場合にはそれを提供できるであろう旨発言。

## 3. 外政

・18日、欧州議会は、「査証手続簡素化に関するモルドバ・EU間協定の修正に関する合意」を批准。

### ▼世論調査

[モルドバ社会・人口学協会]

・近日中にEUへの加盟の是非を問う国民投票が実施された場合の回答

賛成:47.3%、反対:31.6%

・近日中に関税同盟への加盟の是非を問う国民投票が実施された場合の回答

賛成:51.4%、反対:21.5%

・調査は4月1日から14日にかけて1,195名の成人を対象に実施。

## 4. 沿ドニエストル

・16日、シェフチューク「大統領」及びムハメトシン在モルドバ・ロシア大使は、ロシア大使館ティラスポリ出張領事事務所の新庁舎開設式に出席。同大使は、ロシアはティラスポリ総領事館開設問題の解決に強い関心がある旨発言。

・16日、沿ドニエストル「外務省」は、モルドバと沿ドニエストルの境界への外国人の出入国管理施設設置に関するモルドバの意向に関し、「5+2」者会合における協議を要求する声明を発表。

・19日、カルポフ国家再統合問題担当副首相代行は、グバレフ沿ドニエストル問題担当ロシア大使と会談し、沿ドニエストル紛争解決過程における仲介者及びオブザーバーの役割の重要性を確認し、安全地帯の状況及び次回「5+2」者会合の準備状況等に関し協議。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。(了)